

N

F

C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

ジョージ・イーストマン博物館  
映画コレクション

Film Treasures from George Eastman Museum

2017年10月28日(土)ー11月5日(日)

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

東京国際映画祭

モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)

特別協力: ジョージ・イーストマン博物館

助成: アメリカ合衆国大使館

GEORGE  
EASTMAN  
MUSEUM

◆開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。各日の開館時間についてはスケジュール欄をご覧ください。

11月の休館日:

月曜日

大ホール

各回の開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制) \*弁士・伴奏付きのプログラムは299席  
料金(共催企画の特別料金):一般1,300円/高校・大学生・シニア1,100円  
/小・中学生・障害者(付添者は原則1名まで)520円/キャンパスメンバーズ900円(学生), 1,000円(教職員)

※「Student U30」—— 各回先着20名まで、30歳以下の学生の方は、学生証提示により無料となります。

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

長瀬映像文化財団

フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

ジョージ・イーストマン博物館  
映画コレクション

2017

11

NFCカレンダー  
2017年11月号

Film Treasures from GEORGE EASTMAN MUSEUM

# 大ホール 上映作品

ジョージ・イーストマン博物館  
映画コレクション  
Film Treasures from  
George Eastman Museum

映画と写真の博物館として世界的にその名を馳せるジョージ・イーストマン博物館(GEM)は、イーストマン・コダック社の創業者であるジョージ・イーストマン(1854-1932)がニューヨーク州ロチェスター市に構えていた邸宅を、彼の死後に活用する形で1949年に開館しました。以来、歴代の映画キュレーターたちのユニークな選択眼を基にしたアーカイブ事業を展開し、現在では、無声アメリカ映画を始めとする数々の貴重な作品の可燃性原版やプリントのコレクションを誇るのみならず、世界の映画保存をリードする教育機関としてもその名を知られています。

本年、フィルムセンターが同博物館の特別協力を得て、東京国際映画祭、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)と共同で開催する本上映会は、2014年のニューヨーク近代美術館(MoMA)、昨年のUCLA映画テレビアーカイブに続いて、アメリカの映画保存機関の貴重なコレクションを紹介する第3弾となります。血湧き肉踊る戦車レースのスペクタクルから、名匠ウィリアム・ウェルマンが描く貧しい男女の詩情溢れるロマンス、巨匠シュトロハイム監督の未完成作品のレアなバージョン、その後の群像劇の形式に多大な影響を与えた名作、歴史上有名な叛乱を映画化した海洋大作、マルクス兄弟の至芸が目白押し喜劇、悪女を軽妙に描くニコラス・レイの初期作品、そしてエヴァ・ガードナーが美しく神秘的な女性を演じるメロドラマまで、映画黄金期を体現する8本をGEM所蔵の35mmプリントで上映します。みなさまのご来場をお待ち申し上げます。

- ◎=監督 ◎=原作 ◎=脚本・脚色 ◎=撮影
- ◎=美術 ◎=音楽 ◎=出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- ★印の回は弁士・伴奏付で上映します。

1 10/28(土)3:30pm★ 11/3(金)3:30pm★

**ベン・ハー**(152分・20fps・35mm・無声・白黒)  
BEN-HUR: A TALE OF THE CHRIST  
原作の二度目の映画化で『イントレランス』(1916, D・W・グリフィス)に次ぐ映画史上の超大作。ラモン・ノヴァロの魅力、壮麗な美術、実物大の海戦シーン、40台超のカメラワークと編集で魅せる戦車レースなど見所満載。本作で助監督を務めたウィリアム・ワイラーは、のちに自身も『ベン・ハー』(1959)を撮る。  
1925(MGM)◎フレッド・ニプロ◎ルー・ウォレス◎ケリー・ウィルソン◎ルネ・ギッサール、カール・ストラス、パーシー・ヒルバーン、クライド・デ・ヴィナ◎セドリック・ギボンズ、ホレス・ジャクソン◎ラモン・ノヴァロ、フランシス・X・ブッシュマン、メイ・マカヴォイ、クレア・マクドウェル、ベティ・ブロンソン

2 10/29(日)4:00pm★ 11/3(金)11:00am

**人生の乞食**(81分・24fps・35mm・無声・白黒)  
BEGGARS OF LIFE  
第1回アカデミー作品賞に輝いた『つばさ』(1927年)と並ぶ、ウィリアム・ウェルマン監督の無声映画の秀作。当時のアメリカの渡り労働者を描いた同名小説の映画化で、身を守るために養父を殺害してしまった身寄りのない娘(ブルックス)が、2人の男(ビアリー、アーレン)と逃避行を共にするうちに心を通わせていくさまが、ディゾルヴを多用した抒情に満ちた映像によって綴られる。ファム・ファタール女優の人気を確立する前のルイズ・ブルックスが逃亡のため男装する娘役を演じ、両性具有的な魅力を発揮。  
1928(パラマウント・フェイマス・ラスキー)◎ウィリアム・A・ウェルマン◎ジム・タリー◎ベンジャミン・グレイザー◎ヘンリー・ジェラード◎ウォレス・ビアリー、ルイズ・ブルックス、リチャード・アーレン、ロバート・ペリー、ロスコー・カーンズ、エドガー・ワシントン

3 10/28(土)11:45am 10/31(火)7:00pm

**クイーン・ケリー**  
[スワンソン・エンディング版]  
(75分・35mm・白黒)  
QUEEN KELLY  
大スター、グロリア・スワンソンが自ら製作・主演した作品。シュトロハイムが監督に起用され、撮影は1928年に開始されたが、撮影フィート数と予算が大幅に超過し、翌年に製作中止となった。その後スワンソンは結末を撮り足し、いわゆる「スワンソン・エンディング版」を完成、ヨーロッパなど限られた国で公開された(日本未公開)。GEMのスワンソン旧蔵フィルムコレクションからの復元版。修道院で暮らす少女(スワンソン)が、ある日、プリンス(パイロン)に出会って恋に落ち、人生が変わっていく…。  
1931(グロリア・スワンソン・ピクチャーズ)◎エリッヒ・フォン・シュトロハイム◎ポール・イヴァーノ、ゴードン・ボロック◎ハロルド・マイルズ◎グロリア・スワンソン、ウォルター・パイロン、シーナ・オーウェン

4 11/2(木)3:00pm 11/5(日)12:30pm

**グランド・ホテル**(112分・35mm・白黒)  
GRAND HOTEL  
ヴィキ・バウムの小説を原作としたウィリアム・ドレイクの戯曲の映画化。ベルリンのグランド・ホテルを舞台に、人生の岐路に立つ宿泊者5名の1日半の人間模様を描く。監督のエドモンド・グールディングは、流麗なリズムでグレタ・ガルボを筆頭に大スターの競演を捉え、ジョン・クロフォードは本作で大スターの仲間入りをした。第5回アカデミー作品賞受賞。  
1932(MGM)◎エドモンド・グールディング◎ヴィキ・バウム◎ウィリアム・A・ドレイク◎ウィリアム・ダンエルズ◎セドリック・ギボンズ◎グレタ・ガルボ、ジョン・バリモア、ジョン・クロフォード、ウォレス・ビアリー、ライオネル・バリモア



ベン・ハー Photo courtesy George Eastman Museum

## ジョージ・イーストマン博物館 George Eastman Museum

映画アーカイブとしては、アメリカで2番目に古い歴史を持つ。ロチェスター大学との共同で、映画保存の専門家を育成する教育プログラムも実施しており、世界の映画保存をリードする機関の一つでもある。2015年10月、館名をジョージ・イーストマン・ハウスからジョージ・イーストマン博物館に改称した。



ドライデン・シアター



人生の乞食

5 11/1(水)3:00pm 11/4(土)3:30pm

### 戦艦バウンティ号の叛乱

(132分・35mm・白黒)

MUTINY ON THE BOUNTY

18世紀後半に太平洋で実際に起きた、英国船バウンティ号での叛乱を映画化した、当時の米国で大ヒットした作品。乗組員を酷使し厳罰を科す艦長ブライ(ロートン)に対し、航海士クリスチャン(ゲイブル)が仲間と共に叛乱を起こす。日本では1938年に公開された(当時の公開題名は『南海征服』)が、戦中期の時節柄、部下が上官に反抗する場面に大幅にカットされた(完全版は1953年に今回上映の題名で公開された)。

1935(MGM) ◎フランク・ロイド ◎タルボット・ジェニングズ、ジュールズ・ファースマン、ケリー・ウィルソン ◎アーサー・エディソン ◎セドリック・ギボンズ ◎ハーバート・ストサート ◎チャールズ・ロートン、クラーク・ゲイブル、フランチョット・トーン、モヴィータ・カスターダ

6 11/1(水)7:00pm 11/5(日)4:00pm

### マルクス一番乗り

(111分・35mm・白黒)

A DAY AT THE RACES

前作『オペラは踊る』(1935、サム・ウッド)に続く、マルクス兄弟のMGMでの2作目。療養所の経営に行き詰った所長が、持ち馬を競馬レースで優勝させて経営を立て直そうとするプロットに、獣医や騎手、運転手ら奇人変人が絡んでいく。マルクス兄弟が歌い踊りながら次々とギャグを披露していくアトラクションが見もの。『グランド・ホテル』や『戦艦バウンティ号の叛乱』、『オペラは踊る』など話題作を次々と送り出し、ハリウッドの「天才少年」と呼ばれた名プロデューサーのアーヴィング・ソールバーグは、本作製作中に37歳の若さで逝去した。

1937(MGM) ◎サム・ウッド ◎ロバート・ピロッシュ、ジョージ・シートン、ジョージ・オッペンハイマー ◎ジョセフ・ラッテンバーグ ◎セドリック・ギボンズ ◎フランツ・ワックスマン ◎グルーチョ・マルクス、チコ・マルクス、ハーボ・マルクス、モーリー・オサリヴァン、マーガレット・デュモン



クイーン・ケリー Photo courtesy George Eastman Museum



グランド・ホテル



戦艦バウンティ号の叛乱

7 10/31(水)3:00pm 11/4(土)12:30pm

### 生まれながらの悪女

(90分・35mm・白黒)

BORN TO BE BAD

サンフランシスコに出てきた野心的な田舎娘が、複数の男を天秤にかけながら上流社会へと進出していく。ジョン・フォンテインが持ち前の清楚な役柄から脱却してドライで打算的な悪女を演じる。ニコラス・レイの演出はユーモアと深刻さを同居させながら手際よく進行し、フィルム・ノワールとメロドラマが渾然一体となった不思議な魅力をもった作品に仕上がっている。

1950(RKO) ◎ニコラス・レイ ◎アン・パブリッシュ ◎チャールズ・シュニー、イーディス・ソマー ◎ニコラス・ムスラカ ◎アルバート・S・ダゴスティーン、ジャック・オーキー ◎フレデリック・ホルンダー ◎ジョン・フォンテイン、ロバート・ライアン、ザカリー・スコット、ジョン・レスリー、メル・ファーラー

8 10/29(日)12:00pm 11/2(木)7:00pm

### パンドラ

(123分・35mm・カラー)

PANDORA AND THE FLYING DUTCHMAN

呪われた男がたった一人で海洋をさまよいつづけるという「さまよえるオランダ人」の伝説と、ギリシャ神話における人類最初の女性・パンドラの挿話に想を得たメロドラマ。愛を告白する男たちを次々と死なせてしまう美しい女性パンドラ(ガードナー)が、運命の男ヘンドリック(メイソン)と出会い、彼の身にかけてられた呪いを解く。パウエル・プレスバガー作品などにおける華麗なテクニカラー映像で知られる名手ジャック・カーディフによって、エヴァ・ガードナーが美しく神秘的にとらえられる。

1951(ロムルス・フィルムズ) ◎アルバート・ルーイン ◎ジャック・カーディフ ◎ジョン・ブライアン ◎アラン・ロースソン ◎ジェイムズ・メイソン、エヴァ・ガードナー、ナイジェル・バトリック、シーラ・シム、ハロルド・ウォルンダー



マルクス一番乗り Photo courtesy George Eastman Museum



生まれながらの悪女 Photo courtesy George Eastman Museum



パンドラ Photo courtesy George Eastman Museum

ピアノ伴奏付上映出演者【出演順】

#### 新垣隆(にいがき・たかし) / 作曲, ピアノ

1989年桐朋学園大学音楽学部作曲科に入学。卒業後、母校の非常勤講師を約20年間勤めた他、作曲家・ピアニストとして活動。現代音楽を主体としつつ映画やCM音楽の作曲も手掛ける。最近ではTVやラジオ出演も多数。作曲を南聡、中川俊郎、三善晃、各氏に師事。



#### 上屋安由美(かみや・あゆみ)

作曲, ピアノ

名古屋市出身。桐朋学園大学作曲科卒業、同大学研究科修了。「いちむじん」など同年代アーティストのCD編曲を担当。2012年より無声映画の楽士として活動開始、ボルデノー無声映画祭、東京国際映画祭、タイ無声映画祭等に出演。



弁士付上映出演者

#### 澤登 翠(さわと・みどり) / 台本, 語り

1972年故松田春翠に入門。第一線で活躍する弁士として国内外の公演を通して幅広い世代に活弁の魅力を伝えている。活弁の継承者としての活動が評価され文化庁映画賞他数々の賞を受賞している。また、本年3月には松尾芸能賞特別賞を受賞した。



#### 湯浅ジョウイチ(ゆあさ・じょういち)

作曲・編曲, ギター

1987年、東京国際映画祭でD・W・グリフィスの『国民の創生』の楽師を務めて以来、無声映画用音楽の復元や作・編曲等を行い、後に和洋楽団「カラード・モトーン」を結成。近年はヨーロッパツアーも行う等、精力的に活動している。



#### 丹原 要(たんばら・かなめ) / ピアノ

音楽講師、ピアニスト。日本ダルクローズ音楽教育学会会員。アンサンブルユーリズミックス名誉会員。ジャック=ダルクローズ作品研究会メンバー。リズムの森特待生。楽団カラード・モトーン団員。



お知らせ

### 第30回東京国際映画祭

開催期間:10月25日(水)~11月3日(日)

開催会場:六本木ヒルズ

EXシアター六本木(港区)ほか



<http://www.tiff-jp.net>

2階受付では、「NFCニューズレター」(季刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

# fiaf

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。

ジョージ・イーストマン博物館 映画コレクション  
Film Treasures from George Eastman Museum

月	火	水	木	金	土	日	
10	23 休映	24 休映	25 休映	26 休映	27 休映	28 10:45am開館 3 クイーン・ケリー [スワンソン・エンディング版] 11:45am (75分) 8 パンドラ 12:00pm (123分) 1:00-2:00pm 講演: ユーリ・メデン氏 I★ ベン・ハー 3:30pm (152分) 伴奏: 新垣隆	29 4:00pm 2★ 人生の乞食 (81分) 伴奏: 上屋安由美
11	30 7 生まれながらの悪女 3:00pm (90分)	31 5 戦艦バウンティ号の叛乱 3:00pm (132分)	1 4 グランド・ホテル 3:00pm (112分)	2 2 人生の乞食 11:00am (81分)	3 7 生まれながらの悪女 12:30pm (90分) TIFFトークイベント 2:05-2:45pm 5 戦艦バウンティ号の叛乱 3:30pm (132分)	4 4 グランド・ホテル 12:30pm (112分) 6 6 マルクス一番乗り 4:00pm (111分)	
	31 3 クイーン・ケリー [スワンソン・エンディング版] 7:00pm (75分)	1 6 マルクス一番乗り 7:00pm (111分)	2 8 パンドラ 7:00pm (123分)	3 I★ ベン・ハー 弁士: 澤登翠 伴奏: 湯浅ジョウイチ 丹原要 3:30pm (152分)	4 5 TIFFトークイベント 2:05-2:45pm 5 戦艦バウンティ号の叛乱 3:30pm (132分)	5 6 マルクス一番乗り 4:00pm (111分)	

■ 作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。 ★印の回は弁士・伴奏付で上映します。

展示室(7階)

【企画展】

生誕100年 ジャン=ピエール・メルヴィル、  
暗黒映画の美

Jean-Pierre Melville, cinéaste du noir  
2017年9月26日(金) - 12月10日(日)

\*月曜日は休室  
\*11月3日(金・祝)は「文化の日」のため展示を無料でご覧いただけます。  
主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター、ノクテュルヌ・プロデュクション  
協力: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 日本、KADOKAWA、マーメイド・フィルム、PFF(びあフィルムフェスティバル)  
協賛: エルメスジャパン株式会社

映画監督ジャン=ピエール・メルヴィルが生誕100年を迎える本年、フィルムセンターは、ドキュメンタリー『コードネームはメルヴィル』(2008年)の監督オリヴィエ・ボレル氏が長年収集してきた資料を中心にその孤高の生涯と業績を振り返ります。メルヴィルの“黒”の世界に触れてみてください。



ジャン=ピエール・メルヴィル、『リスボン特急』  
©1972 STUDIOCANAL

\*詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる  
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film  
From the NFC Non-film Collection  
[Captions in Japanese and English]

開室時間=午前11時~午後6時30分(入室は午後6時まで)  
料金(企画展・常設展共通)=一般250円(200円) / 大学生・シニア130円(60円) / 高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。  
\*フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

NFC Digital Gallery  
NFC デジタル展示室 Digital Gallery  
下記ホームページからお入りください  
<http://www.momat.go.jp/pc/digitalgallery>

常設展ギャラリートーク  
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)  
10月14日, 11月4日

講演会のお知らせ

テーマ:「デジタル時代におけるジョージ・イーストマン博物館の映画保存」(仮)

日時: 2017年10月28日(土) 1:00-2:00pm

講演者: ユーリ・メデン / Jurij Meden

スロヴェニア出身。ユーゴスロヴェンスカ・キノテカで上映プログラムを担当する傍ら、自ら実験映画の製作も行う。他に映画雑誌の編集、大学での映画教育、国際映画祭の審査員など多方面で活躍。2014年からジョージ・イーストマン博物館キュレーター。



\* 逐次通訳つき  
\* 入場無料



平成29年度  
美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業

TIFF トークイベントのお知らせ

「クラシックの魅力を若い世代に」

日時: 2017年11月4日(土) 2:05-2:45pm

\*ゲストについては後日ホームページ等でお知らせします。

\*入場無料

\*当日1回目の上映をご覧になった方は、そのまま講演およびトークイベントに参加することができます。講演およびトークイベントのみの参加もできます。

図書室カレンダー

赤字は休室日

10月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

月	火	水	木	金	土	日
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

図書室(4階) 開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハロ-ダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/>